

高知市の学校給食調理

委託ありき 保護者不信感

来年4月試行の潮江東小

学校給食調理業務の民間委託を目指す高知市教育委員会（吉川明男教育長）が、来年四月からの試行先に選んだ潮江東小学校（児童数五百二十五人）へのアプローチを本格化させた。保護者向けに先行地視察を企画し、今月中旬には三夜連続で説明会を開いたが、委託を既定方針として臨む市教委の姿勢に不信感をあらわにする保護者も少なくない。「食」のアウトソーシング（外部委託）の先行きは不透明だ。（古川昇平）

とにかく安全

高知市は深刻な財政難を背景に、職員定数の削減と、絡めて五十事業のアウトソーシングを計画。このうち学校給食は、ごみ収集とマニュアルに沿って行う」にも現業部門の人員費削減「他都市での事故例はまったく大きなウエートを占め

る。説明会を通じ安全性を強調する市教委。これに民間委託を不安視する保護者は「何らかのリスクがある」となどの条件を満たす潮江東

思うがそれを一切言わず、

「リスク触れず利点強調」



給食調理の民間委託試行先にただ一校選ばれた潮江東小。保護者向け説明会では吉川教育長の「見切り発言」が保護者の批判を招いた（9日、同小体育館）

教育長「見切らせてもらおう」

成功例やメリットばかり挙げる。逆に不信感が増した。安全確保への決意、やりとりは深まらな

ズーム

学校給食民間委託 高知市教委は調理に限定して委託する方針で、献立の作成や食材購入は現状と同様、市教委と学校給食会が行う。市教委は人件費中心に1校で年間約500

万1000万円の経費削減効果があると試算。調理業務の民間委託は全国39中核市のうち67%の26市が実施。県内では県立特別支援学校7校、香美市、四万十市などで実施されている。

■大半が不参加

「もう決めているんでしょ」「民間でも大丈夫なのかな、と多少は意識が変わった」

説明会が終わって目立つのは消極的容認の声。創意工夫を期待して民間委託を前向きにとらえる意見もないではない。同小PTAも役員レベルでは委託容認の立場だ。

市教委が横浜新町小との二校で試行を検討した経緯があるためで、「丁寧な対応をするため市教委から距離的に近い潮江東小を選んだ」（吉川教育長）とする説明も、保護者の一人は「裏返せばリスクがある」ということと受け止める。市議会九月定例会への関

連議案提出を見据える市教委の都合も、保護者を硬化させた。吉川教育長は三日間の説明会初日、「全員の合意が得られるとは思っていない。やるだけの説明をやって（試行へ）見切らせてもらおう」と発言。質疑では当然のように「強引」「説明会は始まったばかりなのに」という批判が相次